

【基礎分野】

科目名	論理学	講 師 名	非常勤講師	学	1	履 修 期	第1学期
単 位	1単位			年			
時間数	30時間						
授業概要	現実のさまざまな出来事を観察し、分析し、それらを比較しながら、自分の意見を確認してゆくことを学ぶ。さらに、自分の意見が他者に理解できるように表現することを身につける。そのために、論理的思考および言語表現について学び、思考の矛盾や妥当性を判断して処理する能力を養う。						
授業科目目標	1. 論理的思考の基礎を理解できる。 2. 事象に対する判断力、思考力、文章表現力について理解できる。						
授業計画	<p>1～2回：1. 論理学の原理と概念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 論理学とは何かー思考の秩序 2) 概念とは何かー言葉の機能 3) 思考と存在ー論理学と倫理学 4) 明晰な思考の根柢にあるものの探求 5) 論理的思考と感情の秩序 <p>3～5回：2. 論理的思考に基づく他者理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 他者理解の学説とその問題 2) 対話的人間観と他者理解 3) フランクルの実存的人間観 <p>6～7回：3. 価値の秩序についての論理的思考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 価値優先の論理 2) 価値秩序の法則 3) 価値秩序の混乱と愛憎 4) ルサンチマン論 <p>8～9回：4. 感情の論理としての恥と良心ー日本人の思考の特質</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 恥の文化と良心の文化 2) 恥の四形態 3) 良心の三段階 <p>10～12回：5. 感情の論理としての「愛の秩序」の思想</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 愛の構造 2) 愛の三形態ーエロース、フィリア、アガペー 3) 愛の四次元 <p>13～14回：6. 「いのち」の論理ー生命倫理学の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「生命」と「いのち」と「生きる」 2) 人間存在の五次元（層） 3) 人間の「生」と「死」と「永遠のいのち」 <p>15回：終了試験</p>						
評価方法	レポート（30%） 筆記試験（70%）						
テキスト	講師作成資料						
参考書	講義の中で紹介						
学生へのメッセージ	人間を理解するさまざまな観点（方法）に関心をもっていただきたい。それは「いかに自己を理解することができるか」という問題でもあります。そして、自己と他者が互いに理解し合うためにはどのような観点に立つことが必要だろうか。このような問題意識をもって受講してほしい。						